

市民百景

第 24 回

受けた恩を次の誰かへ

被災地同士が繋がる場所づくり

Happiece Coffee 岩鼻 伸介さん (48)



「釜石と能登をつなぐフェアトレードコーヒー店をオープンしたい」と話すのは岩鼻伸介さん。釜石出身の岩鼻さんは、東京で働いていた時に東日本大震災を経験。自身の実家も被災した中で「何か地元のためにやらなきゃ」という想いで、コーヒーを通じた支援を始めた。週末の夜行バスで釜石に通い、避難所でコーヒーを振舞い、夜行バスで戻り仕事へ。そんな日々が続く中で地元への想いは増し、震災から1年後に東京での仕事を畳み、キッチンカーでのコーヒー販売を始めた。「喜んでくれる人たちの顔が忘れられなかった」と振り返る。

そんな中、令和6年の元日に能登半島地震が発生。岩鼻さんは、1月17日に石川県七尾市へと入り、コーヒーを振る舞った。「私自身も多くの支援をいただいた。その恩返しのため向かった」。支援をする中で泣きながら「ここまで来てくれてありがとう」と声をかけられたと言う。それ以降、ほぼ毎月能登へと通い支援を続けている。「最近では能登の報道が少なくなったが現在も大変な思いをしている人がいる。被災地同士だからこそ、経験を共有できる場所を作りたい」と岩鼻さんは釜石大観音仲見世商店街に店舗をオープンさせるべく、奮闘中だ。

受けた恩を次の誰かへ。希望が連鎖する場所づくりのために
今日も岩鼻さんは汗を流す。



実施中のクラウドファンディング

すこやかアイドル

「すこやかアイドル」では、お子さんの笑顔とご家族のメッセージを紹介します。1～5歳くらいのお子さんの写真を広報に掲載しませんか？市オープンシティ・プロモーション室（☎27-8463）または市のホームページからご連絡ください



ひなと 萬陽翔くん (2歳)

優しく、遅く育ってね!



いぬまた だいじゅ 犬亦大寿くん (3歳)

たくさん食べて大きくなってね♡



ゆずは 佐藤 柚羽ちゃん (2歳)

いっぱい遊んで食べて大きくなってね!



釜石市 LINE 【公式】



釜石市 X 【公式】



釜石市 Instagram 【公式】

